



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月15日（木）



今日はたてわり活動の日です。たてわり活動は、しばらく西小まつりの取り組みが続いていたので、班で遊ぶのは久しぶりでした。校庭で遊ぶグループと教室で遊ぶグループに分かれて遊びました。西小まつりで人間関係がいきに広がったようで、一学期のたてわり遊びより固さがとれたようです。6年生が低学年の手を引く姿も見られ、笑顔があふれ活気に満ちていました。担当の先生も、子供たちにまじって鬼ごっこやドロケイで遊んでいます。



5年生の家庭科も今は裁縫の学習に取り組んでいます。6年生はトートバッグですが、5年生はエプロンです。いつの時代もエプロン作成は、5年生における裁縫の登竜門ですね。教室をのぞいてみると、みんな真剣な表情で縫っていました。今日は、ミシン縫いの前段階として、しつけ縫いをしています。今どきの教材は、布の裏面に指示書きがしてあって、どこを折るのか、どこを縫うのかがわかるようになっています。以前は、チャコペンでしるしをつけたり、線を引いたりしていましたが、家庭科の授業時数も昔とは違うので、縫うことそのものに特化した学習となっています。



3年生が図工で描いている絵は、「未来のふじみ野市」がテーマです。今回取り組んでいる新たな技法は、白クレヨンで画用紙に下描きしてから、水彩絵の具を載せていくというものです。クレヨンの油分が水をはじくため、鉛筆やペン等でくっきり下描きするより、輪郭がぼやけて柔らかい印象を与える絵になります。水彩絵の具の水を少し多めにすることで、パステル調の明るい絵になっています。筆先をつかった細かい描写にも気を配っていました。どの絵も3年生らしい豊かな発想にあふれた楽しい絵になっています。

